

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 岐阜県立各務原西高等学校 学校運営協議会 (第2回)
- 2 開催日時 令和5年11月10日(金) 13:30~15:00
※会議に先立ち、授業参観を実施。
- 3 開催場所 各務原西高等学校会議室
- 4 参加者

会 長	長谷川哲也	岐阜大学教育学部准教授
	杉山 淳子	臨床心理士
委 員	波多野達也	各務原市役所産業活力部次長兼商工振興課長
	遠藤 正彦	地域住民代表
	黒田 晴代	第14回卒業生
	田中 幸子	P T A副会長
学 校 側		
	増田 泰志	校長
	高野 圭	教頭
	原 和幸	教務主任
	向井 好美	生徒指導主事
	安藤 桂子	進路指導主事
	林 えり	特別活動部長
	山本 晃久	教務部副主任兼研修主事

5 会議の概要（協議事項）

(1) 各務原西高等学校の課題について 学校評価アンケートの分析と各分掌の方針 教務

- ・HPに年間計画を掲載してほしいという要望が多く、今年度から対応している。そのためか「行事予定を教えて欲しい」という電話での依頼は少なかった。今後も、必要な情報の発信依頼については柔軟に対応したい。
- ・三年間を見通して、生徒一人一人の進路目標を達成するために、学習指導を大切にしたい。

生徒指導

- ・コロナ禍の影響で、生徒も教員も、細かい部分への対応は甘くなっている。
- ・職員も含め、コロナ禍以前の対応を知るものが少なくなっている。
- ・アンケート項目の「いじめや差別について」120人中6人が回答している。6件については別途対応したが、次年度は全生徒を対象としてアンケート調査を行い、より正確な実態を把握する計画である。

進路指導

- ・担任の姿勢が保護者に伝わるように努力する。目線を合わせた取組を心掛ける。
- ・補習は量、質ともに十分に行っている。保護者の認知度が上がるような説明を心掛ける。

特別活動

- ・職員はコロナ禍と現在を比べることができるが、生徒や保護者は今しか知らない。誤解の生じないように注意したい。
- ・文化祭や体育祭はアンケート後に実施されており、正確な把握は難しいが、現在の生徒の印象は、アンケート時のものより肯定的にとらえられているものとする。

意見1：アンケートの内容は学校が独自で設定しているのかそれとも県の指示か。「回答理由を求めるような質問項目は設けないのか。また、アンケートの実施時期は必ずしないのか。」

→（校長より）アンケートは、学校が設定できる項目もあるが、県の指示で行っている。

意見2：いじめは陰湿化の傾向を感じている、アンケートでの把握は難しいのではないか。

→（生徒指導主事より）いじめについては迷惑調査や心のアンケートも行っている。いずれの場合にも、丁寧な対応、声掛けをしている。

意見3：いじめや差別などの生徒指導関係の相談を実際にしてくる生徒はいるか。

→（生徒指導主事より）相談に来る生徒は存在し、増加傾向にあると感じている。相談を受けた際には、慎重に聞き取り、誤解がなかったかなども含めて対応している。コロナ禍での人間関係の希薄さや対応力の低下を感じる事案も多い。

意見4：「働き方改革」に関する回答は、保護者の3割が「分からない」と回答している。補習の量などで推測できるかもしれないが、保護者にとっては把握しにくい項目であると思われる。どうすれば保護者に伝わるのであろうか。

→（校長より）特に保護者に向けたアピールはしていない。今後、見える化は必要かもしれない。

→（会長より）先生たちの多忙化が社会問題化してしまったという部分がアンケート項目に影響しているかもしれない。

意見5：いじめに関する問いで、生徒の回答と保護者の回答でズレが見られるのは、保護者が得る情報は子どもからのものに限られるため、仕方ないのではないか。

- 意見6：コロナ禍の生活で、部活動など課外活動を含めて「有効な時間の使い方」についての意識が変わっているのではないか。
- 意見7：授業の進行計画や一度発信された連絡等の修正について、断片的にしか情報がなく、どのような影響があるかなどの不安を感じた。いろいろな事情があると思うが、子どもたちが不安を感じたりしないように適切な対応をお願いしたい。
→（校長より）事前の確認を徹底し、発信した情報の修正や訂正がないよう、より慎重かつ厳密な対応をしていく。
- 意見8：文化祭などの学校行事での生き生きとした生徒の様子を直に見てほほえましかった。各クラスに与えられた準備時間も十分にあったと感じている。生徒のためにも、行事の在り方を学校として考えていってほしい。
- 意見9：今回だけでなく公開授業の期間、何度か参観させていただいたが、寝ている生徒はおらず、感心した。特にグループ討議を積極的に取り入れているものが多く、一方的な授業がないことに感心した。
- 意見10：今回参観した3年次の古典の授業において、コミュニケーションを中心に取り入れた展開が見られたのに驚いた。受験期の生徒に対してメリハリを与えることができており、工夫されていることに感心した。
- 意見11：コミュニケーション英語の授業では、古典文学を英訳することに驚きを感じた。また、ALTとの協働的な姿勢にも感心した。
- 意見12：アンケートの経年比較は、コロナ禍以前のものとの比較は難しいと思われる。今年度のデータは、次年度のものとの比較することで、より正確な分析結果がえられるのではないか。
- 意見13：先生の働き方が、生徒の夢や進路実現に直結する部分がある。働き方改革の推進と、その情報発信の重要性については、校長先生から何かしらの手立てをお願いしたい。
- 意見14：アンケートの分析は、A評価とB評価の和で示されているが、項目によっては、A評価を重視すべきものと、A及びB評価を重視すべきものと、それぞれである。例えば、体罰の有無などについてはA評価のみを重視すべきである

6 会議のまとめ

- ・全委員より意見・要望をお寄せいただき、今後の学校運営の方向性や改善点についての有益な情報を得られた。
- ・全委員より現在の本校の学校運営について肯定的評価が得られた。